影を慕いて

作曲】古賀政男作詞】古賀政男

身つ月影ま はつにをぼ 焦めや慕ろ ればるいし つ燃せての つゆぬ る 恼 我 忍 び胸が日 泣の思に く火い

振どギせわ 音こタめび ましてし トでを痛さ レ時取みよ 七雨 りの つって な 寂く爪 し秋弾さ ぞけめ 身は悲. ばに

儚な永永君 きが遠き故 影ろに人に よう春生 べ見へ 我きぬひ がか 恋 我 よ 空 が 蝉運を の命

影を慕いて

上曲】古賀政男上詞】古賀政男

胸の大に り 利にはいるはぬいるは、 がはいるはぬいる。 を表にている。 がはいる。 はぬいる。 泣焦火め思くれにばい ゆる

2.

わびしさよ

ギタ せめ なぐさめ で痛 ーを 取りて Ī 3

どこまで時雨爪弾けば

行く秋ぞ

振音(トレサロ) 身は悲し 寂

影を慕

古賀政男 古賀政男

君 3 故に

(ひとよ) を

永き

我が運命 永遠に春見ぬ

空蝉 ながろうべきか

夢

(はかな)
さ影よ

我が恋よ

End